

Caイオンを安定製造する方法を確立し、事業化をめざす

会社名 株式会社オリーブ技研
 所在地 大阪市北区西天満3-5-18第三新興ビル306
 従業員 4名
 資本金 3,875万円
 売上高 600万円
 業種 化学製品(肥料、飼料、殺菌剤等)の開発製造販売



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 売上目標:0.1億円('21年度)、3億円('23年度)、20億円('25年度)
- 21年度においては、売上目標の達成だけでなく、抗酸化剤の技術を応用した新製品上市への道筋が見え、23年度の売上目標が達成される地固めができる。

支援を受けてできるようになったこと

After

- 考え方はすべて理解され、知財を経営に活かす方向でマスク用洗剤の開発、発売を達成できた。ただ、次のビックテーマであるサニタリー用洗剤の開発が共同開発先の方針変更で中止になったため、社内体制も縮小せざるを得なくなった。

今後の事業展開の展望

Future

- 洗剤の開発体制の縮小に伴い(洗剤開発は当社から切り離して継続予定)、構想中の次の開発テーマで再出発を予定している。

重点支援を受けた事業や商材

抗菌作用と優れた洗浄機能を持ったプレミアムなマスク用洗剤「デタジエンヌ」



レモニーお試しセット(4m...

レモニーフレグランス

抗菌作用と優れた洗浄機能を持ったプレミアムなマスク用洗剤「デタジエンヌ」

- カルシウムイオンを配合したアルカリ性の洗剤で、抗菌力、消臭力に優れている
- 香りのエキスパート・カラダ香草舎とコラボし、SNSを通じて募集したモニターの意見も参考に、アロマのバリエーションを加えた
- 口紅やファンデーションがついたマスクをきれいに洗い流すことができ、ストレスなくお化粧ができ、マスクの使い捨ても不要に

【出典】 Detersienneホームページ

<https://www.detersienne.com/blog/2021/04/04/160522>

重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
技術シーズはあるが、経営戦略・アクションプランが策定されていない	事業環境(市場・競合)をしっかりと把握したうえで、経営戦略およびそれに基づいたアクションプランを策定する必要がある
新製品の開発戦略ができておらず、実効性が不明確	新製品の効率的な開発や販促に繋げる為現在進行中の大阪産業技術研究所での委託研究を成し遂げる
戦略的に知財が活用されていない	経営戦略・開発戦略を明確にうえで、知的財産戦略を明確にし、必要な知財権への手当および他社知財権への対応を行う必要がある
事業パートナーとの契約関係が整備されていない	リスクを抑え安心して事業を進めるための契約の整備は欠かせない
事業戦略に沿った社内体制が不十分	他社との連携を進めるとともに、社内体制の整備と人材育成は避けて通れない

重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
3年後の売上を3億円にする経営目標達成の具体化と事業環境の把握、経営戦略およびアクションプランの策定	・目標に向けて担当者の役割を明確にし、具体的なテーマを推進できた。	中小企業診断士 マーケティング 専門家
差別化点についての理論武装(原理解明)製品案の優先順位付け 応用製品(消毒剤、ヘルスケア分野の製品)の開発ロードマップとアクションプランの作成	・マスク用洗剤の開発、量産化を支援し、上市できた。 ・基本技術を製品に移行するために必要な検討項目や取り組み方について理解し、次のテーマにも活かせるとの認識であった。	技術の専門家
事業戦略・開発戦略とリンクした知的財産戦略の策定と実践。知的財産網の構築とブランド戦略の検討、知財クリアランス対応、知財人材の育成	・商標、著作権についての留意点を助言と、商標登録出願の支援を行った。	知財戦略専門家 弁理士
大阪産業技術研究所との連携とその過程で生まれた発明の取り扱いの明確化と契約への反映 製造および販売パートナーとの契約整備 契約交渉に係る人材の育成	・著作権譲渡契約の支援、締結 ・交渉に当たれる人材を育成できた。 ・事業パートナーとの協働における留意点について学ぶとともに、様々な契約を経験できた	弁護士 中小企業診断士
社内体制の構築と大阪産業局との支援連携(大阪商品計画プログラム)による販売体制の強化	・既存案のブラッシュアップを行い、運用開始に向けた準備が整った。 ・各種機関の支援プログラムを有効活用できた	技術の専門家 中小企業診断士

支援チーム紹介

リーダー専門家: 中小企業診断士 田中 和男

活用専門家: マーケティング専門家、知財戦略専門家、技術の専門家、弁護士、弁理士

窓口担当者: 大阪府知財総合支援窓口 別府 賢一

PO(プログラムオフィサー): 中山 和彦